

特別養護老人ホーム福見の園
令和6年度 事業報告書

1. 総括

特別養護老人ホーム福見の園は、社会福祉法人ブレル会から平成31年4月より事業を譲受し6年となりました。

厳しい経営状況は続いているものの、施設本体もショートステイも昨年に続いて年間目標を達成しています。ただし、一部下回る状況が発生しています。この要因としては、施設の性質上どうしても入院する利用者は年間通して一定程度いらっしゃるのですが、高齢による持病の悪化や体調の急な変化が一時的に多発した事であり、ケガによる入院ではありませんでした。

令和6年度は長崎県の補助金を活用して見守りセンサー「眠りSCAN」30台、コミュニケーションツールである「インカム」を10台整備することができました。これでご利用者全員に見守りセンサーを使用でき、体調変化を見逃しにくい状況を作り、インカムを使用することで職員同士のケアに関する連携をとりやすくすることができます。

ただし、整備してからまだ日が浅いので、機器のよりよい活用方法をこれから幾度も検討しご利用者と職員双方にとって負担の少ないケアを進めます。

収支状況については、施設の稼働率がある程度高止まりしていることで収入の低下はなく処遇改善加算額の増加によりむしろ増加しているのですが、支出の面で人件費の割合が総支出の4分の3程度と高い状態でした。補助金の活用で機器の導入や事務費事業費の内容見直しをしていますが、人件費の割合を抑えることができないことで収入が上がったとしても赤字が改善するほどの効果が得られませんでした。ただし、職員数が多すぎるわけではなく、看護師等部署によっては人員不足の面もありますので次年度は施設長の兼任、現状のユニット体制の廃止、夜勤職員配置加算等介護報酬の新たな加算取得、業務の効率化に取り組むことで収支状況を改善できるよう努力いたします。

人材確保については、職員の紹介やハローワークに加え、県や求人サイト利用により、看護師については1名を大学新卒で採用できましたが、途中から退職者が出て常時3名の雇用とはならず、2名で勤務しなければならない状況が発生しました。4月より1名の看護師を採用する予定はありますが、今後も看護師については確保していく必要があると考えます。

次年度は初めての管理栄養士の大学新卒採用を決定しており、ご利用者にとって食に関する栄養マネジメントへ本格的に力を入れることができます。

ミャンマーからきている外国人技能実習生1名は、今年5月に3年間の実習期間を修了して福見の園を離れる予定です。また、昨年8月にインドネシアから来た特定技能(介護)2名は、現在ご利用者のケア技術を日々磨いており、他の職員へ良い影響を与えています。

今後も利用者の皆様が安心して楽しく過ごしていただけるよう職員一同取り組んでいきます。

2. 利用者の状況等(令和7年3月31日現在)

(1) 施設利用状況(特養) **令和6年度目標稼働率95%**(令和5年度平均稼働率96.8%)

	月初在籍 利用者数	入所	退所	月末在籍 利用者数	退所理由		施設稼働率 (%)
					死亡	他施設等	
4月	30	1	1	30	1		95.7
5月	29	1	1	30	1		98.1
6月	30	0	0	30			98.3
7月	30	0	0	30			94.6
8月	30	1	1	30	1		98.5
9月	30	1	1	30	1		98.0
10月	30	0	0	30			98.1
11月	30	1	1	30	1		99.7
12月	30	0	0	30			99.1
1月	30	0	0	30			96.3
2月	30	1	1	30	1		92.5
3月	30	2	2	30	2		95.3
合計	—	8	8	—	8	0	97.0

(2) 短期入所生活介護 **令和6年度目標稼働率90%**(令和5年度平均稼働率100.6%)

	1日最大 利用者数	施設稼働率 (%)		1日最大 利用者数	施設稼働率 (%)
4月	10	81.0	10月	10	94.2
5月	11	100.3	11月	11	100.3
6月	12	100.3	12月	11	99.4
7月	12	110.3	1月	10	99.7
8月	11	101.9	2月	10	108.2
9月	11	94.0	3月	11	99.0
平均					99.1

(3) 施設利用者年齢構成(令和7年3月31日現在)

	～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	最高	最小	平均
女性	1	3	4	6	6	23	98	72	89.1
男性	1	1	3	1	1	7	100	65	

(4) 施設利用者要介護度状況(令和7年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
女性	0	0	13	3	6	22	3.63
男性	0	0	4	4	0	8	

3. 職員配置及び勤務時間

(1) 職員配置(令和7年3月31日現在 36名 平均年齢49歳 平均在職年数10.5年)

	施設長	事務員	生活 相談員	栄養士	介護支援 専門員	看護師	介護員	調理員	用務員	管理 宿直
常勤	1	2	1		2	2	10	3		
パート							1	4	3	1
継続雇用				1			2			
実習生							1			
特定技能							2			

(2) 一般的な勤務体制

職種	形態	勤務時間	休憩時間
施設長	日勤	8:00～17:30	12:00～13:30
生活相談員	日勤	8:00～17:30	12:30～14:00
介護支援専門員	日勤	8:00～17:30	12:00～13:30
	宿直	18:00～翌7:00	(手待ち11時間)
事務員	日勤	8:00～17:30	11:30～13:00 又は 12:30～14:00
	宿直	18:00～翌7:00	(手待ち11時間)
看護師	日勤	8:30～17:30	13:00～14:00
	早出	7:30～16:30	11:30～12:30
介護員	日勤	8:00～18:00	12:30～13:30 15:30～16:30
	早出	7:00～16:00	10:30～11:30
	遅出	9:00～18:00	13:00～14:00
	浴係	8:00～17:50	11:30～12:00 13:00～14:00 16:30～16:50
	夜勤	16:30～翌9:00	19:00～19:30 22:00～翌1:00 (又は 19:30～20:00 2:00～5:00)
栄養士	日勤	8:00～17:00	12:00～13:00
調理員	早出	7:00～16:00	13:00～14:00
	遅出	9:00～18:00	14:00～15:00
用務員	日勤	8:00～17:00	13:00～14:00
	日勤	8:00～12:00	—
管理宿直	宿直	18:00～翌7:00	(手待ち11時間20分)

(3) 職員採用・離職状況

① 採用状況

介護職 3名(内特定技能2名) 看護職 2名

調理員 3名(内1名GHさざなみより異動) 合計8名

② 離職状況

施設長 介護職 1名 看護職 3名(内1名派遣) 管理宿直 1名

合計6名

4. 事業実施内容

(1) 生活支援

福見の園では2ユニット体制をとっており、できる限り1人1人の状況に合わせた介護ケアを行なって家庭に近い環境をとれるよう心掛けています。また、個室があることで疾患や感染症などの際に個別対応がしやすく施設内感染リスクが軽減されます。なお、以下のような支援等を行っています。現在面会に関しては、新型コロナウイルス感染状況をみながらその都度直接的・間接的を切り替えています。

(ア) 食事支援

食事時間として朝 8:00、昼食 12:00、夕食 17:00 として配膳し、食事をしていただいておりますが、ユニット制を生かすことで利用者個人の食事状況・速度に合わせることができ、ゆっくりと時間をかけることができます。お正月や敬老会、節句、誕生会等季節のイベント時には行事食やケーキを用意して変化に富むようにしています。

(イ) 入浴支援

原則として週 2 回ユニットごとに時間をかけてゆっくり入浴していただいておりますが、業務状況によっては全体浴に変更して利用者の清潔保持に取り組んでいます。

(ウ) 環境衛生管理

利用者の心身の状況に応じてトイレへの誘導や清拭介助、定期的に居室を訪問した時と随時の個別確認によるオムツ交換を行っています。また身だしなみについても意識して取り組んでいます。また、用務員による居室をはじめとした施設内の清掃に心がけることで施設内の清潔保持に努めています。

(エ) 創作・文化活動

レクリエーション活動として書道や折り紙、カラオケ等を行っています。リハビリの一環として紙で箱を折ったり新聞紙を1枚ずつ分けたりする作業にも取り組んでいます。

(オ) 預り金管理

自主管理の難しい方や家族からの依頼により、貴重品を預かって管理しています。

(2) 健康管理

嘱託医による隔週回診と看護師による健康管理・緊急時の対応を行い、利用者や職員に対して新型コロナワクチン接種も実施しております。職員や利用者は必要に応じてマスクの着用や手洗い、うがいなど内部でのウイルス感染防止対策をとっています。面会もマスク着用や手指消毒をお願いして行っています。

本年度は奈良尾歯科による利用者歯科検診を実施し、8月には歯科医による口腔衛生研修をしていただきました。

・医療機関による診察

診療科	回数	内容	医療機関名
内科	月2回	嘱託医による回診	奈良尾医療センター
	年2回	入所者健康診断	奈良尾医療センター
	月1回	入所者に応じて定期受診	上五島病院
	適宜	利用者の状況に応じて検査受診	奈良尾医療センター
	適宜	入所者の状況に応じて受診	奈良尾医療センター 上五島病院
外科	適宜	ケガなどのガーゼ付け替え等	奈良尾医療センター
整形外科	月1回	入所者に応じて受診	奈良尾医療センター
皮膚科	月1回	入所者に応じて受診	上五島病院
眼科	月1回	入所者に応じて受診	奈良尾医療センター
精神科	月1回	入所者に応じて受診	上五島病院
歯科	適宜	入所者に応じて往診 年2回の利用者歯科検診	奈良尾歯科診療所
救急外来	適宜	緊急時に対応	上五島病院

・施設内での健康管理

- ① 毎日の体調チェック(血圧、体温測定等)
- ② 排泄状況チェック
- ③ 薬の管理と配薬
- ④ 緊急時の対応
- ⑤ 入浴支援(週2回)と清拭(入浴日以外の日)
- ⑥ 身体清潔行動支援(爪切り、整髪、歯磨き、髭剃り)

・その他衛生管理

- ① 吸引器・加湿器メンテナンス
- ② 医療機器類のメンテナンス
- ③ 感染症委員会開催

(4) ICT機器の導入及び運用

令和6年度は長崎県の補助金により、見守りシステム「眠りSCAN」を追加で30台、インカム10台を整備することができています。ご利用者全員に見守りセンサーを整備でき、すべての利用者の健康状態や行動を居室へ必要以上に向かわなくても見ることができる体制を整えることができました。また、ケアについてはインカムを利用することで離れた場所から連絡を取り合える体制ができ、協力したケアをとりやすくして効率よく業務ができるようになってきたことでご利用者や職員の負担軽減に役立っています。

(5) 各種行事・レクリエーション活動

家族や清和会各事業所との交流をもち、利用者本人に施設での生活を楽しんでいただくため様々な行事やイベントを行いました。夢プランの実現や毎月の誕生日会も実施しています。

月	日	内容	備考
4	6	お花見	若松大橋花時計まで向かい、咲いている桜を鑑賞した。
	25	誕生日会	ご利用者3名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
5	16	母の日の集い	女性利用者にカーネーション贈呈。ご利用者みなでお菓子をいただいた。
	18	利用者100歳祝	飾付した場所で町長やご家族と一緒に表彰と写真撮影。
	23	誕生日会	ご利用者3名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
	23	釣り大会 (夢プラン)	ご利用者の「鯛を釣りたい。」というご希望を叶える事も含め、岩瀬浦で開催。
6	20	父の日の集い	男性利用者へ花やおつまみ等のお菓子を贈呈した。
	27	誕生日会	ご利用者5名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
7	7	七夕飾り	願いを書いた短冊をみんなで笹に飾りつけ
	18	誕生日会	ご利用者4名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
8	1	納涼会	盆踊り、スイカ割り、射的、そうめん流しを実施
	8	大学生介護体験	長崎大学他の学生さん8名に介護の体験をしていただいた。
	15	上高生インターンシップ	上五島高校1年生3名にインターンシップで介護の体験をしていただく。
	22	誕生日会	ご利用者3名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
9	15	敬老祝賀会	ご家族も招待して開催し、長寿のお祝いをした。 福見保育園児に太鼓の披露もしていただいた。
	28	誕生日会	ご利用者3名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
10	24	誕生日会	ご利用者5名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
11	4	運動会	ホールで利用者と職員が参加して開催。
	21	たこ焼き パーティー	8月に来た特定技能外国人2名を中心に焼いてもらい、利用者へふるまう。
	28	誕生日会	ご利用者9名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
12	5	オンラインレクリエーション	第一興商主催でオンラインにより利用者と体操をおこなう。
	9	奈良尾小学校 児童訪問	児童が考えたゲームを利用者と一緒に行って交流する。
	11	オンラインレクリエーション	第一興商主催でオンラインにより吉野ヶ里遺跡を見学する。
	12	カラオケ大会	利用者5名が朝海荘でカラオケを楽しむ。
	25	クリスマス会 12月誕生日会	職員の催しとケーキを提供。誕生日をみなでお祝い 福見保育園児による歌・遊戯披露
1	1	新春 カラオケ大会 クイズ大会	おせち料理の提供と利用者や職員によるカラオケ披露。 令和6年中に起きた出来事をクイズ形式で出題し、早押しボタンで利用者に解答していただいた。
	4	書初め大会	利用者6名参加
	25	誕生日会	※体調不良者が多く2月に合同開催へと変更
2	3	節分	年女・年男の職員が鬼役とお菓子投げをして楽しむ。
	22	学生企業訪問 バスツアー	上五島高校生徒と中五島高校生徒それぞれ25名ずつ施設内を見学していただく。

	20	誕生日会	1月誕生日の方を併せた利用者5名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
3	3	ひな祭り	ひな壇を飾って菓子の提供と写真撮影
	20	誕生日会	ご利用者4名を皆でお祝いし、ケーキをいただく。
	31	お花見	龍観山まで向かい、咲いている桜を鑑賞した。
	31	書道	春の到来に合わせて利用者を書いていただく。

5. 苦情対応体制 ※令和7年3月31日現在

(1) 苦情解決に関する規程に基づき以下のとおり体制を整えています。

担当者	氏名	備考
苦情解決責任者	小柳 哲也	福見の園施設長
苦情受付責任者	松野 増也	福見の園生活相談員
第三者委員	平田 昌一	地区区長
	森藤 敏幸	元新上五島町社会福祉協議会会長

(2) 苦情件数

家族	利用者	その他	合計
1	0	0	1

(3) 苦情内容

	申出者	内容	対応
1	家族	対象ご利用者の入れ歯ケースが紛失していた状態で見つけた名前が消えていた他のご利用者の入れ歯ケースをその方のだと勘違いし、名前を記入しなおして返却した。後日うちの(入れ歯ケース)ではないという連絡が入り、その際名前の消えかた入れ歯ケールの本当の持ち主のご家族から苦情を受けたと連絡あり。また、故障した補聴器の情報が介護職間でいきわたっておらず、知らない職員がいて引継や連絡の不備について指摘を受ける。	持ち物の紛失や破損に関して申し送りや連絡の徹底をすることと、後日のケース会議で新品入れ歯ケースを施設で購入することにしたことを伝え謝罪した。

6. 事故発生・ヒヤリハット報告状況

事故報告については昨年度より1件減少し、町への報告となる重大事故も1件減少しています。昨年度に引き続き離設の発生がなくなっています。見守り機器による早期発見や職員がご利用者の所在を確認することで離設に対する効果が出ているものと思われます。ただし、外傷については多くがベッドや車いす移乗時に発生しており、ご利用者を安全に移乗する対策(ノーリフティングケア等)が必要であると考えます。

(1) 報告数 令和6年度事故発生件数…66件

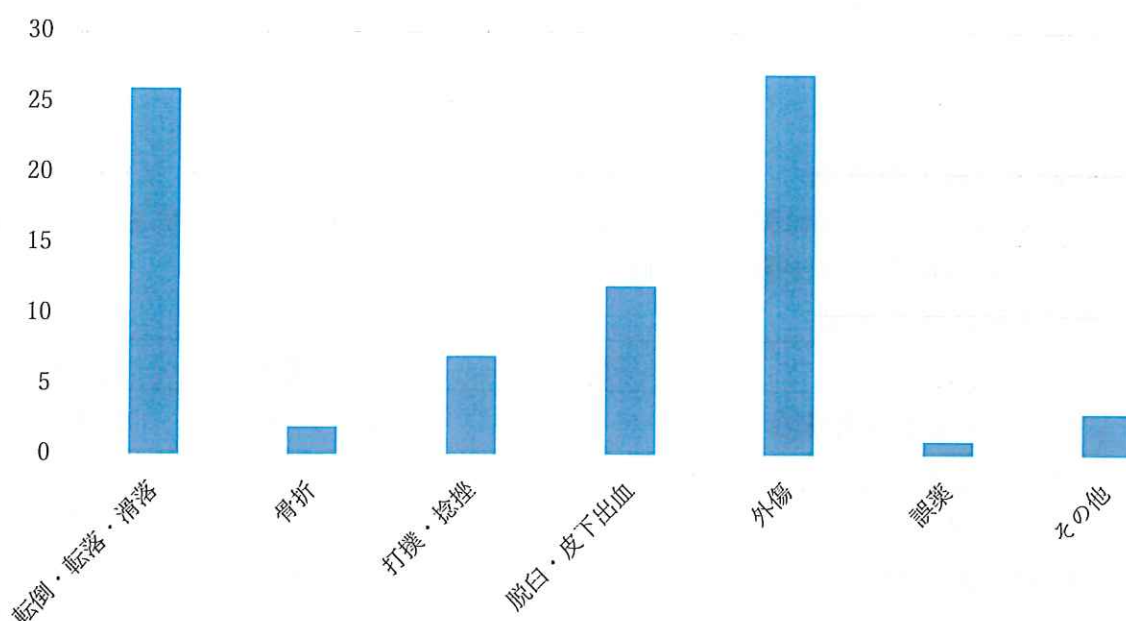
(2) 事故種別

事故種類	転倒 転落 滑落	骨折	打撲 捻挫	脱臼 皮下出血	外傷	誤嚥 誤薬	その他	合計
発生件数	26	2	7	12	27	1	3	78
町への報告数		2						2

町への報告内容…骨折による受診

※発生件数と種類件数が違うのは1度の事故で複数の内容があるため。

令和6年度 事故発生内容



(3) ヒヤリハット報告件数

ヒヤリハット年間報告件数は昨年度より52件減少しています。事故発生数が前年度と同程度であるにもかかわらず大きく報告数が減少していることは、防ぐことができた事故を見逃している可能性が高いと思われます。事故が起きると内容によっては入院につながる可能性をあげるので、引き続き研修等を通してヒヤリハットの重要性を徹底していきます。

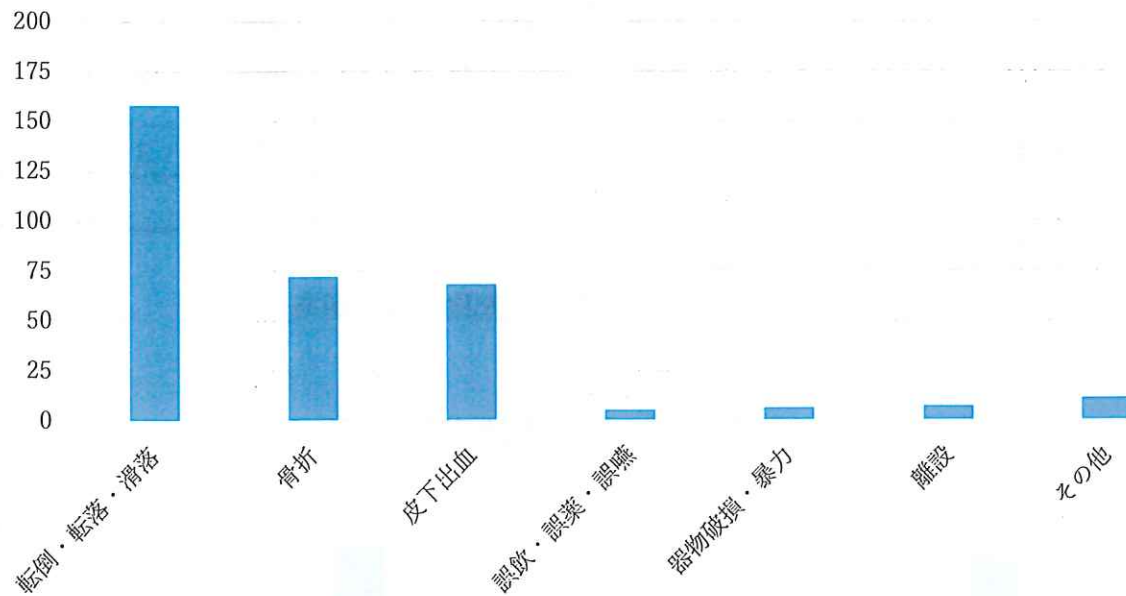
(ア) 報告数 令和6年度ヒヤリハット報告数…108件

(イ) 月別ヒヤリハット報告内容数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25	28	25	11	31	33	39	21	18	44	13	28	327

※1回で複数のヒヤリハットに当たる場合は報告数をまとめて1件としているので、報告件数と内容件数では差異がある。

令和6年度ヒヤリハット報告内容



7. 職員研修・会議・委員会

外部との情報交換や介護に関する資格取得、知識・技術の向上のために主としてオンラインにより職場内研修や職場外研修を受講しています。

(1) 施設外研修参加状況

研修名	開催日	場所	参加数
県社協接遇基本研修会	5/13	オンライン	看護師1名
県社協福祉マインド研修会	6/21	オンライン	看護師1名
県社協福祉認知症ケア研修会	7/10	オンライン	看護師1名
清和会新卒者研修	7/4	清和園	看護師2名
県社協虐待防止研修会	6/28	オンライン	介護支援専門員1名
県社協協人材定着研修会	7/19	オンライン	事務長
県社協福祉ストレスケア研修会	7/24	オンライン	看護師1名
県社協ストレスマネジメント研修会	8/2	オンライン	事務長
ノーリフティング研修	9/26	つばきの里	事務長 介護主任2名
日本語オンライン研修(N3)	9/28~11/23(全6回)	オンライン	実習生1名
県社協中堅職員研修	10/13	長崎市	介護職1名

清和会主任・中堅職員 キャリアアップ研修	12/20、1/17	清和園	主任介護員他 5名
清和会管理者研修	12/20、1/17	清和園	施設長、事務長
介護テクノロジー セミナー	2/25	離島開発セ ンター	主任介護員2名 事務長

(2) 施設内研修参加状況

研修名	開催日	場所	参加数
ChatGPT研修	8/28~10/2	オンライン	事務長
ノーリフティング研修	10/24~3/24	オンライン	施設長他3名
眠りSCAN活用支援研修	2/17、3/17	ホール (オンライン)	職員10名
事故発生防止研修	8/30、	ホール	職員26名
感染症対策研修①	7/12	会議室	職員7名
感染症対策研修②	10/9	会議室	職員6名
身体拘束防止研修①	2/10、2/13、2/17	ホール	職員21名
身体拘束防止研修②	3/20、3/24、3/27	ホール	職員20名
奈良尾歯科口腔機能研修	8/12	ホール	職員16名
喀痰吸引基本研修	6/13~7/25	オンライン	介護職1名
喀痰吸引基本研修	8/19~10/7	オンライン	介護職1名
喀痰吸引基本研修	11/18~12/23	オンライン	介護職1名
喀痰吸引基本研修	1/16~2/27	オンライン	介護職1名
喀痰吸引実地演習	1/8、3/24	福見の園	看護師1名 介護職2名
喀痰吸引実地演習	3/10~3/11	福見の園	看護師1名 介護職2名

(3) 委員会・会議開催状況

委員会・会議名	開催数	内容
感染症対策委員会	3回	インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染予防対策と状況報告
生産性向上・業務改善 委員会	6回	ICT機器導入や日々の業務改善の検討と 効果確認、課題分析
口腔機能向上委員会	3回	利用者の口腔状況に関する報告とその対 策
身体拘束・虐待防止 委員会	4回	身体拘束に関する勉強会開催や施設での 状況報告
排泄委員会	3回	排泄介助に関する勉強会計画やおむつ使 用状況・頻度・おむつ購入状況の確認
事故発生防止検討委員会	2回	事故に関する今後の対策や事前予防に関 する対応

褥瘡委員会	2回	利用者の褥瘡に関する対応
入所検討委員会	4回	施設入所利用予定者についての報告決定
リーダー会議	12回	施設サービスに関する各種打合せ・対応等
給食会議	2回	利用者の食事状況に関する各種対策、業務内容の検討
職員会議	2回	施設運営に関する各種説明や収支報告等

8. 県監査指導の実施状況について

令和6年11月20日の実地指導において以下の口頭指導を受けましたが、全て改善するように進めています。

口頭指導内容	
1	時間単位での年次有給休暇について、パートタイマーなどの短時間勤務者も取得対象者としているが1日当たりの時間数が明示されていないので、下記の厚生労働省のモデル就業規則を参考にして労使協定を締結し、就業規則に明示すること。 (厚生労働省モデル就業規則) パートタイマーなど短時間勤務者が時間単位年休を取得する場合の1日の年次有給休暇に相当する時間は以下のとおりとする。 ・ 所定労働時間が5時間を超え6時間以下の者…6時間 ・ 所定労働時間が6時間を超え7時間以下の者…7時間 ・ 所定労働時間が7時間を超え8時間以下の者…8時間
2	令和5年度決算において勘定科目の大区分で予算額を超えて支出を行っている。予算を超える支出を行う場合は、補正予算を組み、理事会の承認を受けた上で行うこと。
3	前回の口頭指導(研修に参加できなかった職員への対応)について。不参加者が資料を確認したとする記録(押印やサイン)の漏れが散見されたので押印やサインを行っていない職員への対応を確実にを行い記録を残すこと。
4	調理室の室温について、下記において25℃を超えている日が散見されるので、25℃以下になるよう努めること。

勘定科目		福見の園	
		合計(決算額)	令和5年度との差
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	174,917,989
		老人福祉事業収入	
		保育事業収入	
		就労支援事業収入	
		障害福祉サービス等事業収入	
		その他の事業等収入	
		経常経費寄付金収入	347,000
		受取利息配当金収入	5,055
		その他の収入	1,410,723
		事業活動収入計(1)	176,680,767
			3,199,527
	支出	人件費支出	135,215,714
		事業費支出	30,041,035
		事務費支出	18,707,437
		就労支援事業支出	
		支払利息支出	
		その他の支出	
		流動資産評価損等資金減少	
		事業活動支出計(2)	183,964,186
			5,658,181
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△ 7,283,419
			△ 2,458,654
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	5,401,333
		固定資産売却収入	
		施設整備等収入計(4)	5,401,333
	支出	設備資金借入金元金償還支出	
		固定資産除却・廃棄支出	
		固定資産取得支出	5,368,188
		施設整備等支出計(5)	5,368,188
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		33,145
			1,145,775
その他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入	
		拠点区分間繰入金収入	
		長期貸付金回収収入	400,000
		サービス区分間繰入金収入	1,000,000
		その他の活動による収入	
		その他の活動収入計(7)	1,400,000
	支出	事業区分間繰入金支出	
		拠点区分間繰入金支出	
		長期貸付金支出	532,228
		サービス区分間繰入金支出	1,000,000
		その他の活動による支出	1,145,760
		その他の活動支出計(8)	2,677,988
		その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	△ 1,277,988
			67,772
	予備費(10)		
	当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 8,528,262
			△ 1,245,107
	前期末支払資金残高(12)		16,520,317
	当期末支払資金残高(13) = (11) + (12)		7,992,055
			△ 8,448,125

令和5年度 人件費/収入
78.3%令和6年度 人件費/収入
76.6%令和5年度からの人件費増減
-1.7%

事業費増の主な要因 単位：千円

給食費	
給食費	1,085,000
水道光熱費	
水道光熱費負担	600,000
消耗器具備品費	
眠りSCAN等整備	1,112,000

事務費増の主な要因 単位：千円

研修研究費	
喀痰研修費用	1,370,000
修繕費支出	
施設備品等修理費用	700,000
業務委託費	
特定技能受入費用	960,000

